



弥生NEWS [VOL.5]

2月4日(木)に、2学年課題探究成果発表会が行われました。本年度の2年生は、6月から2回にわたってZoomで地域の方との対談を行い、その中で地域の抱える課題に対して「アクションを起こす」ことへと探究学習の場を移してきました。自ら行動し体験することで気づくことや感じることを大切に、教室の中だけでは得ることのできない経験を積み重ねてきました。今回の発表会では、それらを一度振り返り、表現することで、今までの取り組んだ成果をまとめることができました。



今年大活躍のZoom。先生たちも使い方に慣れました。



ポスターセッションで発表するグループもあれば、



パワーポイントを用いて発表するグループもありました。



真剣に聞いている生徒の皆さん。特に1年生は2年生の発表から、来年の自分たちの学びのヒントを得ることができました。



ありがとうプロジェクトに関わった生徒の皆さんは、感謝状をいただきました。

2カ月間の休校は探究活動にも大きな不安を落としましたが、郷土愛プロジェクトや地域アドバイザーの方々を支えられ、充実した学習成果を残すことができました。2年生全員が、STCO、アルラA、アルラB、アルラC、SDGs、食品ロス、福祉(災害ボランティア)、JICA、国際、高遠ロゲイニング、蕎麦、ありがとう、観光、農業、森林再生と15の分野に分かれ、学校と地域が連携しながら進めた学びには大きな意義があったと思います。この活動が、来年、再来年、・・・と継続され、弥生の新しい象徴的な活動となることを期待しています。